

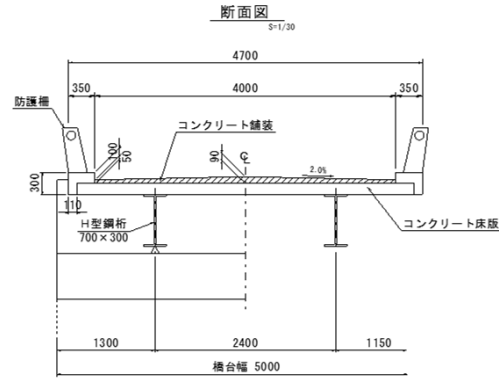
橋梁名	愛林橋	路線名		橋長	15.4	径間数	1	1972年供用	49年経過	交差物件	ケトナイ川
-----	-----	-----	--	----	------	-----	---	---------	-------	------	-------

2021年度定期点検

補修履歴

1. 現況写真

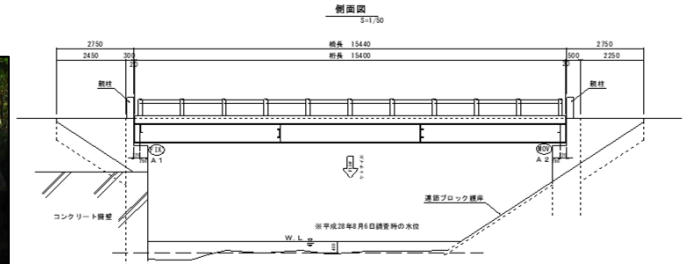
【全景：起点側から】



【橋台:A1橋台】



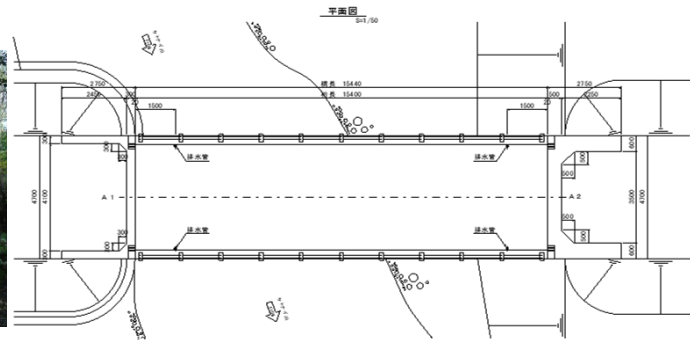
【左側側面】



【橋台:A2橋台】



【右側側面】



【上部工下面】



3. 点検結果比較表(前回点検:平成28年度(2016年))

健全度	II
-----	----

分類	重要部位(部材)										その他部位(部材)										
	上部工		下部工			支承					橋面工		その他部位								
部材	主桁	副部材	床版	躯体	基礎	本体	モルタル	アンカー	伸縮装置	落橋防止装置	舗装	地覆	縁石	防護柵高欄	護岸	排水装置	点検施設	遮音施設	照明施設	添架物	
今回	II	I	II	II	I	II	II		II	-	II	I	-	II	-	II	-	-	-	-	-
前回	II	II	II	II	I	II	II		II	-	II	I	-	II	-	II	-	-	-	-	-
備考	※1	※2	※3	※4		※5	※6		※7					※8		※9					

「林道施設長寿命化対策マニュアル(平成28年3月林野庁)」により、現地点検及び損傷度判定を実施

- ※1 主桁の塗装劣化、局所的な腐食(2016年点検より塗装劣化は進行している、腐食範囲については進行は認められない)主桁が腐食による板厚減少がみられないことから、機能に支障が生じておらず、予防保全段階IIとして評価。
- ※2 副部材に塗装劣化がみられるが、腐食は認められないことからIとして評価した。
- ※3 床版の局所的な遊離石灰(2016年点検より進行は認められない)遊離石灰は局所的であり、進行も認められないことから予防保全段階IIとして評価した。
- ※4 下部工に局所的な豆板(2016年点検より進行は認められない)があるが、機能に支障は生じておらず予防保全段階IIとして評価した。
- ※5 4つの支承ともボルトの腐食が認められるが、板厚の減少はみられないことから、機能に支障は生じておらず予防保全段階IIとして評価した。
- ※6 支承モルタルの欠損がみられることからIIとして評価した。
- ※7 下部工に伸縮装置からの漏水痕跡がみられることからIIとして評価した。
- ※8 高欄の腐食、コンクリート部材の損壊。笠コンの凍上等による損壊は著しいが、結束鉄筋の板厚減少を伴う腐食、コンクリート支柱のひび割れ等が認められないことから、防護機能に支障が生じておらず予防保全段階IIとして評価した。
- ※9 排水装置に塗装劣化、局所的な腐食がみられることからIIとして評価した。

2. 損傷写真

2016.8.6点検時写真

【主桁】	【主桁】	【主桁】	【主桁】	【主桁】	【支承】	【支承】	【床版】	【下部工】
II	II	II	II	II	II	II	II	II
塗装劣化・腐食	塗装劣化・腐食	塗装劣化・腐食	塗装劣化・腐食	塗装劣化・腐食	モルタル損壊・腐食	モルタル損壊・腐食	遊離石灰	豆板

2021.9.28点検時写真

II	II	II	II	II	II	II	II	II
塗装劣化が進行	塗装劣化が進行	腐食個所に变化無し	塗装劣化が進行	塗装劣化が進行	腐食が進行	腐食が進行	遊離石灰の拡大はみられない	変状無し